

25日機輸通投第182号
平成25年10月30日

組合員各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

中国経済セミナー：習近平政権が目指すもの
～『経済の時代』の終わり～を迎え新たな進路を模索する～
開催のご案内 <組合員限定>

習近平政権が誕生してから半年余りが経ちました。第12次5ヵ年計画に則った政策が進められていますが、経済成長率が鈍化していることで中国経済を不安視する向きもあります。しかし近年、人々の価値観が多様化してきたことから、高成長であれば満足できるという時代でもなくなってきました。今、中国指導部が目指す国づくりとはどのようなものなのかをテーマとして、中国経済及び経済政策の専門家を講師に迎えて、下記のとおりセミナーを開催致します。今後の中国の方向性をどのように見ていけばよいのか、ビジネス方針を検討する上で大いに参考になるものと存じます。組合員各位におかれては、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さい。

記

日時：平成25年11月21日（木） 14：00～16：00

場所：機械振興会館6階 会議室6D-1～6D-2（定員80名）
東京都港区芝公園3-5-8 Tel：03-3434-8216

テーマ：中国経済セミナー：習近平政権が目指すもの
～『経済の時代』の終わり～を迎え新たな進路を模索する～

- ①中国経済の現状
- ②経済政策の基本方針
- ③主な産業・企業動向
- ④改革開放政策の新たな視野

講師：New Asian Invesco Ltd. 董事総経理 森 一道氏
（当組合HPのメンバーズメニュー「月例 中国経済現地報告」執筆者）

概要：習近平氏が中国共産党総書記に就任してから約1年が、国家主席に就任し、新政権が誕生してから半年余りが経過した。前任の胡錦濤政権と比べ、対日本外交での強硬姿勢が目立つが、第12次5ヵ年計画（2011～15年）でも強調された経済・産業構造改革の方

針は不変であり、不正腐敗の取締まり強化等を通じて構造改革をさらに徹底して推し進める構えすら見せている。

そのような政策方針が追求されるなかで、経済成長率は鈍化し、対内直接投資の伸び率も減速している。このような動向に関連付けて、日本を含む一部諸国・地域において、中国の現状を否定的に捉える論調も目立つようになっているが、構造改革の途上で各種経済指標が「変調」を来たすのはむしろ自然である。

また何より、21世紀に入り顕著に進展しているとみられるグローバル化（人々の価値観の劇的な多様化）は、「経済成長（所得増大）さえ達成すれば政治と社会は安定する」とする「経済の時代」の終わりをとくに新興国において表面化させていると言える。対外開放を通じて経済高成長を続けることで人心を捉え、一党支配を維持してきた中国の指導部はそのような時代変化にきわめて敏感である。

『「経済の時代」の終わり』を迎え、①中国経済の現状、②経済政策の基本方針、③主な産業・企業動向、④改革開放政策の新たな視野を4本柱として、中国はどこに向かっていくのか、中国指導部が目指す国づくりはどのようなものなのか、などについて解説する。

参加費：無料（組合員限定）

申込方法：セミナー参加ご希望の方は、11月19日（火）までに当組合ホームページ
<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm> からお申し込み下さい。
なお、申込者多数の場合は、申込締切日前に締め切らせていただく場合がございます。

会場へのアクセス：機械振興会館

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

キャンセル方法：11月19日（火）までに下記事務局までご連絡ください。

以上

お問い合わせ先：日本機械輸出組合 通商・投資グループ 谷口、齋藤、庫元 くらもと

Tel 03-3431-9348、Fax 03-3436-6455、<mailto:tohshi@jmcti.or.jp>